八碁連だより

八碁連HP https://hachigoren.com

令和３年　１月号　　第３５１号
発行日　令和３年１月１日（金）
発行所　八王子囲碁連盟
住　所　八王子市大和田町3-17-42-110
電　話　042-686-1762
発行者　成田　滋
編集者　鈴木　富士雄

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

巻頭言

令和３年の年頭にあたり　八王子囲碁連盟会長　成田　滋

令和３年を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。日本では新しい内閣が誕生し、合衆国にも新しい大統領が登場し、政治に新しい松明が受け継がれます。過ぎゆく年を回想しますと、私ども人間が知恵を傾け、解決への決意と努力をする絶好の機会が与えられたと年と思われます。一つの歴史を積み重ねたということでしょうか。歴史を学ぶ意義は、過去にあった出来事から未来を考えることにあります。私たちは失敗して初めて少し賢くなります。過去と向き合いつつ、これを未来にどのように生かすのかです。感染症の克服の歴史を調べるとそれが分かります。

感染症は有史以前の生物の進化の歴史とともにあります。最も古くから知られてきた病気の一つにハンセン病があります。主に皮膚と神経を侵す慢性の感染症です。感染症といえばコレラ、マラリア、麻疹、ペスト、天然痘、はしか、ポリオ、発疹チフス、インフルエンザ、HIV-エイズなどなど枚挙に暇がありません。古代ギリシャでも「ペスト」ははやったようです。感染すると２日ないし７日で発熱し、皮膚に黒紫色の腫瘍がでるところから、ヨーロッパでは「黒死病」として恐れられました。我が国で昔から最も恐れられた感染症といえば結核の右にでるものはありません。かつては「労咳」と呼ばれた病気でした。今なお毎年１万人以上の患者がでている古くて新しい病気といわれます。こうした感染症は、現代では治療法が確立された完治する病気です。

新型コロナウイルス COVID-19 によって、経済や社会が滞り、いろいろな悪影響が広がりました。八碁連も大会や定例会の開催が中止されました。この未曾有の事態から私どもがどのような対策を講じるべきか、医療の備えはどうあるべきか、働き方や学び方はどうあるべきか、経済の喚起策はどうあるべきか、などの知見が得られています。欧米におけるワクチン開発が急激に進み、令和３年には実用化されるはずです。日本はそれに比べて開発が遅れているといわれます。この現実から日本は科学技術立国を目指し、そのために大きな研究投資が必要だということも学んでいます。

八碁連の諸課題は、コロナを含む周りの世界からの影響によるものとはとらえたくありません。伝統文化の継承

という社会貢献に資する団体として、内側から組織の目的意識を高揚することです。私も会員の１人として、令和３年度も特に女性や子どもの囲碁人口を増やすことに傾注していきたいと考えております。皆様のご健康とご活躍に期待いたします。

お知らせ

◆ 八碁連囲碁大会のご案内

（１）第 2 回女性大会の開催

＊前号でお知らせしました女性大会の締め切りが近づいております。皆様の参加をお待ちしております。

日　時　　令和３年１月 17 日(日)　９時 20 分～
会　場　　東浅川保健福祉センター　3F
参加対象　　八碁連女性会員（初心者教室、長房女性教室含む）
参加人数　　24 名
会　費　　700 円（昼食代含まず）
申し込み先　１月 10 日までに同好会経由にて 八碁連会長　成田 滋まで
その他事項に関しては、前号参照願います。
※　但し、コロナ禍の状況次第では、開催を中止とさせてもらう場合がございます。

（２）第 28 回タイトル大会の開催予定

日　時　　令和３年２月 20 日(土)　９時 30 分～17 時 00 分 予定
会　場　　東浅川保健福祉センター　第５・第２・第３集会室(4F)　娯楽室 3(3F)
タイトル　八碁連名人、八碁連王座、八碁連天狗
参加対象　地区同好会の名人、王座、天狗のタイトル取得者又は準優勝者 各２名　計 60 名
　　コロナ禍により地区大会未開催の同好会は上記各２名を推薦
.試合方式　八碁連スイス方式
会　費　　700 円（昼食代含まず）館内食事禁止につき各自外食願います。
申込先　　競技担当理事　高取 民治　tel　622-6132　hjddh381@yahoo.co.jp
締切日　　令和３年２月７日
※　本大会はコロナ禍で地区大会を開けない同好会が多い故、特例として同好会推薦者の参加をお願いすることにしました。但し、コロナ禍の状況次第で中止とする場合があります。

投稿・囲碁川柳

恥も捨て調子に乗って駄作出し　　廣島松治

・毎日を囲碁川柳でボケ防止
・碁に夢中時を忘れて過ごし居り
・三思して石を持つのが碁の極意
・碁に負けた相手は未だ小学生
・囲碁勝負無心の境地欲かかず
・人格者囲碁に勝っても威張らない
・マスク掛け囲碁対局は無口なり
・コロナ禍で囲碁対局もままならず
・囲碁勝負子どもに負けて褒めてやり

連絡　八碁連 Web サイトは復旧しています

成田　滋

11 月 30 日に八碁連 Web サイトがハッキングにより停止し、ご不自由とご迷惑をおかけしました。幸いバックアップファイルを使い 12 月 7 日より、一部不具合はありますが閲覧できるようになっています。停止理由の解明と復旧作業は、サイトの共同管理者で奈良にお住まいの友人、筱(しの)更治氏がやってくださいました。

筱氏によりますと、サイトの停止理由は、基盤部分のディレクトリが一部破壊され、ファイルが消去したことです。さらに一部のデータファイルが 2 バイトコードになっていて、プログラムとのリンクが切れていたことです。サーバーとサイト管理の詳細は専門的過ぎて小生には手に負えませんが、両者とも常に攻撃の対象となっているようで、もっとサイトのセキュリティを高めることが大事だと筱氏から指摘されています。

新しい管理用ログイン画面

現在動作しているサイトは、いくつかの対策を講じ、以下のような状態です。

1　管理ページとログインへの攻撃からの保護に特化したプラグインを入れました。プラグインとは機能拡張のアプリのことです。右図のように、パスワードともう一つの認証の指定された（ひらがな）を入れるとログインできます。不正アクセスは、海外からのアクセスがほとんどのため、ひらがなにしておくと不正侵入が難しくなると思われます。

2　現在のサイトは、契約サーバーのディスク上で 100 ギガ容量の 80%を消費しています。容量を 2 倍にするように筱氏から助言され、200 ギガとしました。容量を増やしてもサーバー利用料金は税込みで月 1,430 円とこれまでより下がりました。

3　貴重なアーカイブである碁老連、碁楽連、八碁連だより、30 周年記念誌資料、投稿文書などはリンク付けされ、閲覧できています。申し込みフォームも回復しています。

4　これまで使ってきたプラグインの Google Map は更新しました。費用は年間 28 ドルです。Google Map はどのファイルにも配置することができます。その他、サイト統計情報、広告掲載、カレンダー、イベント、ウィルス対策、SNS リンクに必要な無料のプラグインを再度インストールして運用しています。

5　HP にあるメインメニューの追加や配置を換えてみました。例えば、貴重なアーカイブである碁老連ニュース、碁楽連だよりをメニューに配置してみました。アーカイブには、平成 24 年度からの大会記録、理事、同好会長の一覧も追加しました。

6　全てのデータファイル名は 1 バイトコードに改名しました。

もし、閲覧中に不具合がみつかりましたら、（shigerunarita@gamil.com）宛てにお知らせ下されば有り難いです。以上です。

投稿・エッセイ

川沿いの低地　　赤石五郎

私は、八王子の元横山町の生まれだ。小学校は第一小学校だったから、いかにも八王子の中心地のようだが、さにあらず。元横山町は浅川沿いの長細い地域で、横山町、八日町、本町などの中心区域からみると、どう考えても川沿いの低地だった。

浅川を挟んで対岸の大和田町にはもっと低い土地もあった。犬の散歩で、暁橋と大和田橋の間の堤防をよく歩いたものだが、今の第十小学校はかなり後にできた小学校で、付近の堤防が切れていた。甲州の釜無川に築かれた信玄堤と同じだなと気が付いた。大水〔洪水〕が出たとき、いったんは川沿いの低地にみずを逃して堤防の決壊を防ぎ止める。水が引くまでは、その低地は水浸しだから、当然住宅地には向かない。信玄はうまいことを考えたものだ。第十小学校ができた頃には、この堤防の切れた箇所は直され、堤防がつながったのだと思う。当然のことながら、学校付近の低地にも家が建てられた。住宅地になる前から、大きな工場がいくつかできてはいたが。岳南製紙、村内醤油工場などがそうだ。

最近地球温暖化の影響とかで、「50 年来の大雨が降る」地域が話題に挙がるが、そのたびに川の堤防が決壊し、周辺の住宅地が水浸しになっている様子がニュースとなるのをテレビ画面でお目にかかる。痛ましいことだ。子どもの頃、大雨が降ると、すぐに浅川の水を見に行ったものだ。濁った水が川幅一杯に流れるのを見ていたが、堤防を川の水が越えたら、うちは水浸しになってしまうからと心配だった。近所のおじさん連中も必ず見に来ていたな。

「線状降雨帯」という新しい用語が気象予報官から聞かれるようになった。1 時間に 50 ミリ以上の雨量があると危険だということも、新しい知識となった。最近では、1 時間に 90 ミリ、100 ミリの雨量も観測された例もある。こうなるとますます川沿いの低地は危険地帯ですな。

大和田橋付近

結婚してから住むようになった元本郷町のすまいは、道路より低い土地に建っていた。そのうえ、周囲の土地が我が家よりも少し高いので、窪地の真ん中に我が家が建っていたことになる。水はけも悪く、下水道もない頃だったので、「吸い込み」に生活排水は流していた。大雨が降ると大変だった。「吸い込み」で処理しきれない水で家の周りは水浸しになり、池の中の一軒家だった。秀吉の高松城水攻めに会ったような感じがした。もう低い土地はこりごりだった。だから住み替えには、新しく丘陵地帯を切り開いた住宅地を見つけた。現在の狭間町の紅葉台がそれで、もうこれならいくら大雨が降っても、雨水は下へ流れていってしまうから、周りを水で取り囲まれる心配はない。

住まいを洪水で流されたり、水浸しになった家を修繕するようなことになってはと子どもの頃から心配だったが、川沿いの土地が安いからと、リスクを知らないで住み替えてしまった人はお気の毒だ。住む土地を決めるには、一番条件の悪い、例えば大雨の日などに見に行くのが良い。安い土地には何か都合の悪い条件がある。4 メートル道路に面していない、交通の便が悪い、下水道が通っていない、都市ガスが来ていない、川沿いの低地、活断層が走っている、付近の工場の騒音がひどい、排気ガスがひどい、がけ崩れの危険がある山の斜面に近い、等様々なことがあるから。

近頃は学校の児童の声がうるさくてたまらんとか、保育園が近くにできるとうるさいからという理由で住民の反対運動が起こるそうだが、これは違うだろう。小さい子ども達を近くに見たり、声がきこえることで、自分たちも活性化し、生きていくエネルギーをいただいているとおもえないものか。

八碁連会長会・報告

11 月 20 日(金)　於 東浅川保健福祉センター

参加者　討議内容に関しては、12 月号に速報として掲載しましたので、省略させていただきました。
本号では、各同好会の活動状況概要を紹介します。(詳細は、会長会議事録参照願います)

浅川(三島会長)

7 月再開後 8 月は休会、9 月から再々開し 4 か月継続　12 月以後は幹部会で検討して決める方向
この間勉強会を開催(15 人前後参加)その資料と八碁連だよりを一緒に全会員に配布している。

恩方(藤森会長)

2 月末の定例会で中止決定　その後オンラインで(水・土)2 か月活動　5 月から研修会実施　7 月から定例会再開（2 回/週）参加者 20 人程度　今後については検討中

大和田(鈴木会長)

7 月中旬、自由参加で対局を始める。研修方式の勉強会も実施　対策はマスクの徹底のみ　約半数の方は休会している。今後については、コロナ感染者増加している故、検討中

石川(水野会長)

7 月中旬から始めた。対策を十分にして始めたのだが、徐々に守らない人も出始め心配　継続して楽しみたいが、会場利用費倍増、参加人数半分故厳しい。

長房(福嶋会長)

9/6 再開　従来は 2F の会場のみで対局していたが、定員制限から 1F も利用(利用料倍増)　1F. 2F どちらかが利用不可の場合は休会　現在 30 人前後の方が参加（10 人程度が休会中）

会長会の様子

川口(中谷会長)

8 月から 10 人前後が参加して再開(第 2, 4 日曜　2 回/月)
来年 1 月に新春大会を計画　1 クラスの予定

中野(宮崎会長)

週 1 回木曜日に定例会実施　検温、マスク、手指消毒、盤拭き等で対策　天狗戦開始 15 名の参加　欠席者の大半は外出を控えるとのこと。

南大沢(武中会長)

6 月再開　会場半分に制限　48 人部屋→24 人　参加者が少ない故 24 人の部屋のみで対応　会費は 6 月から 9 月まで通常に徴収　10 月以後は出席者のみ徴収
(尚、元八王子、台町は欠席の為　掲載していません)

11 月度理事会・報告

日時　令和 2 年 11 月 28 日(土)　　午前 9 時～11 時 30 分
場所　東浅川保健福祉センター　創造活動室 3F
出席者　成田、南(記)、高取、武中、鈴木　端山

報告事項（抜粋）

① 「同好会長会」11 月 20 日開催　本理事会にて議事録確認

② 「インターネットを楽しむ学習会」11/27 開催 ・「蚤の市」開催 PR　八碁連 Web サイトで開始

③ 傘寿会員 22 名への記念品を「同好会長会」の席上で当該会長に手渡す。

④ 大和田、恩方、長房の各同好会より申請のあった「初心者研修」への支援金を支払った。

⑤ 来年度理事の候補者推薦依頼を 1 月 20 日締め切りで依頼した。恩方、元八、中野同好会の順

⑥ 第 2 回女性囲碁大会の開催を、八碁連 Web サイトに掲載した。

議案の決定事項（抜粋）

① 第 2 回女性囲碁大会の準備は、11 月 21 日付け実施要領に従い行うも、実施の可否は次回理事会(12/26)でコロナ禍の状況を判断して決める。

② 「活きいき大会」のあり方、開催方法などに関する自由記述調査を実施（回答期限 12/25)、結果を即刻各理事に示す。　現時点では、大和田、長房、浅川から回答あり

③ 同好会長会議事録の確認実施：会費徴収に関して「コロナ禍に於ける特例処置とする」との文言を入れることで全員の意見一致　尚、級位認定・昇級者は広報に名前を掲載することが必要ではとの意見があった。要検討

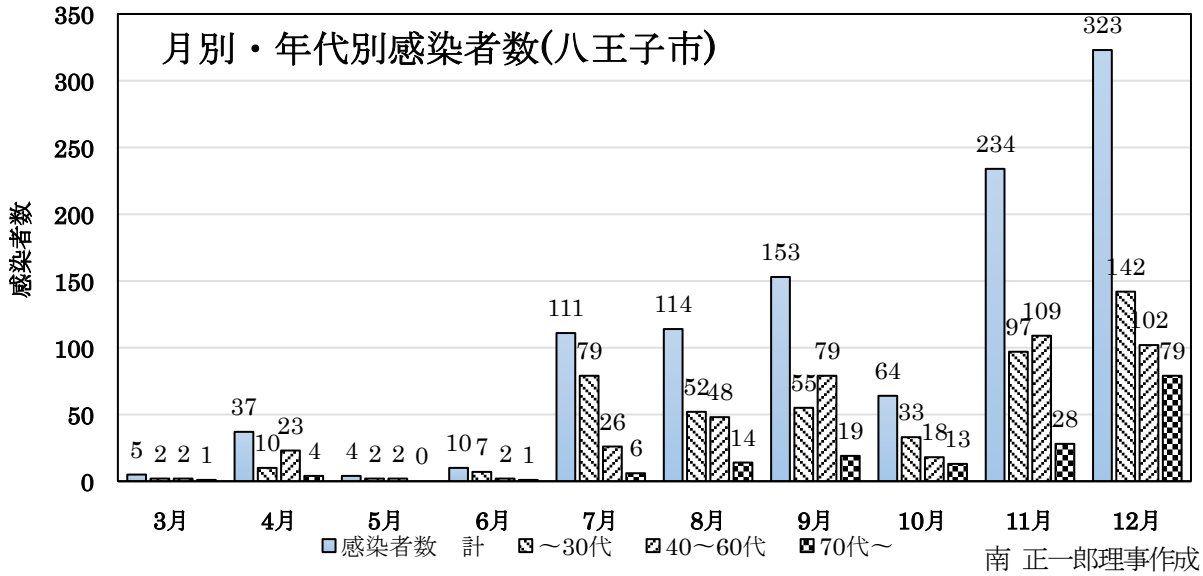
その他（抜粋）

① 理事のなり手のない問題に関し、今般の「同好会長会」でも意見を出してもらった。来年度は解決に向け検討するとの会長より再度の意思表示があり、意見交換を行う。　詳細は議事録参照

② タイトル大会の件　現状ペンディング　12 月中旬までに決定予定　　その他、

コロナ情報　・12 月 17 日時点

「八王子市の感染者数は、高齢者を含め大幅に上昇しています。お互い十分注意しましょう」



南 正一郎理事作成

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナ禍で大変な一年でした。今年もコロナ情報からも分かるように一向に収まる気配がありません。特に我々八碁連の皆さんは高齢者がほとんどです。十分気を付けて囲碁など楽しんで下さい。理事会でもなんとか大会の開催ができるよう検討して参ります。　　（文責　鈴木富士雄）